

# Cisco IOS サーバ ロード バランシング : 実サーバの設定

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ループバックアドレスを設定して下さい](#)

[AIX または Solaris UNIX のループバックアドレスを設定して下さい](#)

[Windows NT 4.0 のループバックアドレスを設定して下さい](#)

[Windows 2000 のループバックアドレスを設定して下さい](#)

[デフォルト ルートを削除して下さい](#)

[デフォルト ルートを削除するプロシージャ](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco IOS® のサーバ ロード バランシング (SLB) のディスパッチ モードで使用する実サーバの設定について説明します。SLB のディスパッチのモードは、MAC アドレスベース モードおよびループバック アドレスベース モードという名でも知られています。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

## [ループバックアドレスを設定して下さい](#)

Catalyst 6000 の SLB 機能を設定した後、固有のループバック デバイスのためのエイリアスで実サーバのそれぞれを設定するか、またはインターフェイスして下さい。この設定は実際の仮想サーバとサーバファームの各マシンに同じ IP アドレスを与えて必要です。宛先の実サーバはエイリアス アドレスを持つクライアントにサーバが自身の固有のアドレスのために応答するようにそれから直接応答できます。このセクションは AIX、Solaris、Windows NT 4.0 および Windows 2000 のためのループバックアドレスを設定する手順を提供します:

### [AIX または Solaris UNIX のループバックアドレスを設定して下さい](#)

ループバックアドレスを設定するのに AIX UNIX の ifconfig lo0 エイリアス VSERVER\_IP\_ADDR ネットマスク 255.0.0.0 コマンドを使用して下さい。

ifconfig lo0:1 VSERVER\_IP\_ADDR 127.0.0.1 をループバックアドレスを設定するために命じます Solaris UNIX で使用して下さい。

### [Windows NT 4.0 のループバックアドレスを設定して下さい](#)

次の手順を実行します。

1. Start > Settings の順に選択して下さい。
2. 『Control Panel』を選択し、ネットワークをダブルクリックして下さい。また、Network Neighborhood アイコンを右クリックし、『Properties』を選択して下さい。ネットワーク制御パネルは現われます。
3. 『Adapters』をクリックし、これらのステップを完了して下さい: 『MS Loopback Adapter』を選択し、『OK』をクリックして下さい。プロンプトでインストールCD-ROM かフロッピーディスクを挿入して下さい。インストールを完了するために『Finish』をクリックして下さい。ネットワーク制御パネルは再度現われます。
4. 『Protocols』をクリックし、これらのステップを完了して下さい: TCP/IP プロトコルを右クリックし、『Properties』をクリックして下さい。『MS Loopback Adapter』を選択し、『OK』をクリックして下さい。obtain の選択を IP アドレス自動的にクリアして下さい。ネットマスク 255.0.0.0 で VServer/Loopback IP アドレスを割り当てます。

### [Windows 2000 のループバックアドレスを設定して下さい](#)

次の手順を実行します。

1. My Computer アイコンを右クリックし、『Properties』を選択して下さい。System Properties ダイアログボックスは現われます。
2. Hardware タブを選択し、『Hardware Wizard』をクリックして下さい。ハードウェアインストール・ウィザードは現われます。
3. MS ループバックアダプタを追加して下さい。次の手順を実行します。[Next] をクリックします。『Add/Troubleshoot a device』を選択して下さい。[Next] をクリックします。プラグアンドプレイウィンドウがシステムを検査するようにし次に『Add a new device』を選択して下さい。[Next] をクリックします。No, I want to select the hardware from a list を選

択します。[Next] をクリックします。Network Adapters をクリックして、Microsoft listing に移動します。『Microsoft Loopback Adapter』を選択し、『Next』をクリックして下さい。[Finish] をクリックします。

- Network Connection ウィザードを通してループバックアダプタ設定を編集して下さい。次の手順を実行します。「loopback」に新しい LAN 接続の名前を変更することができます。新しい接続を右クリックし、『Properties』 をクリックして下さい。あらゆるその上に結合されたプロトコルの選択をクリアして下さい (たとえば、共有する MS ネットワーキング、ファイル及びプリント等)。インターネットプロトコル (TCP/IP) をダブルクリックして下さい。obtain の選択を IP アドレス自動的にクリアして下さい。ネットマスク 255.0.0.0 で VServer/Loopback IP アドレスを割り当てます。

## デフォルト ルートを削除して下さい

いくつかのオペレーティング システムで、デフォルト ルートはこの新しいループバック エイリアスに関連して作成されます。きちんとはたらくために IP ルーティングのためのデフォルト ルートを削除する必要があります。

### デフォルト ルートを削除するプロシージャ

次の手順を実行します。

- 各実サーバ上に余分なルートがないかをチェックします。AIX で、Solaris、Windows NT 4.0 および Windows 2000 は、**netstat -rn** コマンドを使用します。
- Gateway Address カラムの下でループバック アドレスを検索します。余分ルートがある場合、ループバックアドレスは二度現われます。ループバックアドレス **netstat -rn** コマンドで例はここにあります (9.67.133.158) 第 2 列および 8 番目の列両方に現われます: NETWORK

Address	Netmask	Gateway	Interface	Metric
0.0.0.0	0.0.0.0	9.67.128.1	9.67.133.67	1
9.0.0.0	255.0.0.0	9.67.133.158	9.67.133.158	1
9.67.128.0	255.255.248.0	9.67.133.67	9.67.133.67	1
9.67.133.67	255.255.255.255	127.0.0.1	127.0.0.1	1
9.67.133.158	255.255.255.255	127.0.0.1	127.0.0.1	1
9.255.255.255	255.255.255.255	9.67.133.67	9.67.133.67	1
127.0.0.0	255.0.0.0	127.0.0.1	127.0.0.1	1
224.0.0.0	224.0.0.0	9.67.133.158	9.67.133.158	1
224.0.0.0	224.0.0.0	9.67.133.67	9.67.133.67	1
255.255.255.255	255.255.255.255	9.67.133.67	9.67.133.67	1

- ループバック アドレスが表示されている、各行のネットワーク アドレスを調べます。サーバを適切に通信させるには、一般的なマルチキャスト ネットワーク アドレスを参照する必要があります。マルチキャストネットワーク アドレスは例の 8 番目の列にあります。ネットワーク アドレスがクラスタ アドレスと同じ 1 桁目の数字から始まる 1 才である 3 つのゼロに先行している余分 default-route を、削除する必要があります。この例では、余分ルートは 9.0.0.0 のネットワーク アドレスがある第 2 行にあります、:よく知られたマルチキャスト ネットワーク アドレス

224.0.0.0	224.0.0.0	9.67.133.158
9.67.133.158	1 自動的にインストールされたデフォルト ルート	9.0.0.0
9.67.133.158	9.67.133.158	1

- 余分ルートを見つける場合、SLB 仮想サーバの適切な通信を許可するために余分ルートを削除して下さい。各プラットフォームのための手順はここにあります:AIX か Solaris で、**route delete** を-純 NETWORK\_ADDRESS CLUSTER\_ADDRESS コマンド使用して下さい。たとえば、**route delete - 9.0.0.0 9.67.133.158** を得て下さいWindows NT 4.0 か Windows

2000 で、コマンド プロンプトで **route delete NETWORK\_ADDRESS CLUSTER\_ADDRESS** コマンドを発行して下さい。たとえば、**route delete 9.0.0.0 9.67.133.158**注: Windows NT 4.0 および Windows 2000 を使用する場合、サーバをリブートする度に余分ルートを削除して下さい。

## [関連情報](#)

- [dispatched モードの HTTP プローブで IOS サーバのロードバランシングを設定する方法](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)